

平成23年度史料館事業年報

著者	東北大学史料館
雑誌名	東北大学史料館紀要
号	8
ページ	127-146
発行年	2013-03-15
URL	http://hdl.handle.net/10097/56136

平成23年度
東北大学史料館 事業年報



I 組織概要

(1) 理念・目的と事業内容

東北大学史料館は、東北大学の歴史に関する資料の保存・公開をおこなう、東北大学のアーカイブズ（Archives = 文書館・公文書館）である。

発足間もない2001年度に当時の史料館運営委員会でまとめられた『東北大学史料館の将来構想』では、21世紀の東北大学のアーカイブズとして史料館が果たすべき基本的な役割が、以下の4点に整理し明示されている。

- 一、大学における歴史的情報を学内外に公開し、現代的情報を対象とする情報公開制度との両輪で「開かれた大学」という理念を実現する。
- 二、大学自身の歴史的資料を、長期的な見通しに立った大学改革・大学評価の基礎となる材料として活用し、大学の発展に貢献する。
- 三、収蔵資料を基礎にした大学史に関する研究活動を行い、これを基礎にした大学教育・社会教育活動を行うことで学術研究や地域文化の発展に貢献する。
- 四、アーカイブズそのものに関する研究・教育活動及びその支援を行い、公文書館等各地の資料保存機関で活躍する人材の育成に貢献する。

ここ示された理念の実現のために、史料館では本部事務機構以下の学内諸部局や関係分野の教員との連携のもと、以下の事業を継続的に実施している。

- 1) 学内諸部局に散在する大学公文書を保存期間満了後に歴史的価値評価に基づいて選別集約し、同時に本学の歴史に関する個人文書等の調査・収集を行うことで、東北大学の歴史資料として価値を有する様々な記録資料の集約と保存を図る。
- 2) 史料館に集積された資料を一般の閲覧利用に提供し、同時にそのための利用環境の整備（資料調査・整理および目録・データベースの作成公開）を図る。
- 3) 常設展示や企画展示など東北大学の歴史に関する展示活動や広報誌の発行等を通じて、東北大学の歴史に関する社会教育・普及活動を実施する。
- 4) 東北大学の歴史や資料保存・公開等に関する調査研究活動を実施し、同時にこれらを基礎にした教育活動を行う。

(2) 沿革

東北大学史料館は、昭和38年（1963）7月にわが国初の大学アーカイブズ「東北大学記念資料室」として設置されて以後、半世紀近くにわたって活動を続けている。その沿革は以下のようによにまとめられる。

①『東北大学五十年史』編纂事業と東北大学記念資料室の発足

東北大学では、昭和35年（1960）に『東北大学五十年史』の編纂刊行を終了したのち、編纂事業において調査・収集した資料の保存公開の必要が認識され、1963年（昭和38）7月、「本学の歴史に係る記念となる資料を収集、保存するとともに、これを公開活用して、もって本学及び学術の発展に寄与する」ことを目的とする「東北大学記念資料室」が設置された。当時国内にはこうした大学アーカイブズの設置例はまだなかったが、欧米の大学ではアーカイブズが多く設置され始めており、こうした事例を参考にわが国初の「大学アーカイブズ」として発

足した。

当初この記念資料室は附属図書館内に設けられ、職員もまた図書館業務を兼務するなど実質的には図書館と一体的なかたちで運営されていた。しかし 1986年 10月からは片平地区の旧附属図書館本館閲覧室を単独で使用し、教員についても専任の教員が配置され、実質的にも図書館業務と独立した組織として運営されるようになった。

②いわゆる「情報公開法」の施行と東北大学史料館への改組

平成12年（2000）12月、「東北大学記念資料室」は「東北大学史料館」へと改組された。この「史料館」への転換は、国立大学法人化に向けた学内改組の動きのなかで従来の「記念資料室」のありかたについて再検討を進めた結果、（1）いわゆる「情報公開法」の施行に伴う保存期間を満了した歴史公文書の保存公開体制整備、（2）『東北大学百年史』編纂事業の伸展に伴う資料受入・保存公開体制のさらなる整備、（3）本学を代表する一般公開施設としての整備充実、といった観点から必要な改革としておこなわれたものであった。とくに（1）については、翌年 4月より保存期間を満了した歴史公文書の評価を史料館が担当することが学内で正式に制度化され、以後歴史公文書にかかる業務が大きな比率を占めるようになった。

なお平成18年（2006）4月には、総合学術博物館・植物園・史料館を「業務組織」として傘下に置く「東北大学学術資源研究公開センター」が設置され、史料館は以後同センターの業務組織となった。その結果博物館等との連携も強めているが、一方で事務担当部局は従来通り附属図書館とされ、図書館との関係も維持されている。

③「公文書等の管理に関する法律」施行と史料館公文書室の発足

平成23年（2011）4月、「公文書等の管理に関する法律」の施行に伴い、国の行政機関や独立行政法人等における公文書管理制度の大幅な見直しがおこなわれることとなった。東北大学においても同法に対応する形で「国立大学法人東北大学法人文書管理規程」が制定されるとともに、従来から実施してきた歴史公文書の史料館への移管制度をふまえ、同法が「特定歴史公文書等」の保存公開施設として定める「国立公文書館等」に相当する施設として、史料館に新たに「公文書室」を設置することとなった。

公文書室は学術資源研究公開センター史料館の一部門である一方で、総長の指名する副学長又は理事が委員長をつとめる「東北大学公文書管理委員会」のもとで本学の歴史公文書の管理公開を担当する組織としても位置付けられるなど特別な位置づけとなっている。またこうした位置付けに対応し、公文書室関係の事務に関しては総務部総務課が担当している。

また公文書室の設置と同時に、個人からの寄贈資料やその他の大学史にかかる多様な歴史資料を「特定歴史公文書等」と区分して管理・公開するため、「公文書室」と並ぶ室として「記念資料室」を設置し、以後この2室（2部門）体制で、本学の歴史に関する資料の保存と公開をおこなっている。

（3）東北大学史料館の収集・所蔵資料

「公文書等の管理に関する法律」および「国立大学法人東北大学法人文書管理規程」にもとづき保存期間を満了した東北大学の歴史公文書の移管を受けるとともに、教職員・卒業生はじめとする関係者の記録など大学の歴史を跡づける多様な資料を収集・保存し公開している。

史料館が収集・管理する資料の概要

区分	主な内容（公開中のもの）
東北大学の歴史公文書	東北大学の歴史公文書 約2,300冊
	東北大学包摂校の歴史公文書 約420冊
東北大学および各部局・学内各種組織が発行する刊行物（学術誌を除く）	約2,200シリーズ
東北大学関係者の個人・関連団体資料	東北大学関係 40件／約5100点
包摂校関係 9件／2000点	
東北大学の歴史に関する写真・動画資料	写真資料5,960点
動画資料3点	
東北大学の歴史に関する物品資料・記念品等	看板、教育用器具、絵画、印章、衣服、記念品等

(4) 組織・スタッフ

①スタッフ (2011年度)

1) 職員

館長 (公文書室長・記念資料室長)

文学研究科教授

佐藤 伸宏

教員等

准教授

永田 英明

(公文書室・記念資料室)

助 教

曾根原 理

(記念資料室)

助 教

大原 理恵

(記念資料室)

教育研究支援者 (2011.4.1～9.30)

徳竹 剛

(公文書室)

教育研究支援者 (2011.10.1～)

加藤 諭

(公文書室)

事務職員・アルバイト

再雇用職員

川村 秀子

事務補佐員

高橋 早苗

事務補佐員

金 銀貞

事務補佐員 (～2011.9.30)

加藤 諭

事務補佐員

菅原 朋浩

2) 兼務教員

文学研究科准教授

安達 宏昭

高等教育開発推進センター教授

羽田 貴史

高等教育開発推進センター講師

中川 学

高等教育開発推進センター講師

串本 剛

高等教育開発推進センター助教

高橋 禎雄

3) 協力研究員

東北学院大学 (非常勤)

吉葉 恭行

東北薬科大学 (非常勤)

本村 昌文

東北学院大学 (非常勤)

佐藤 健治

岩沼市史編纂室

伊藤 大介

4) 協力調査員

総務部広報課課長補佐

千葉 史朗 (情報公開室長)

②組織

1) 資料管理・公開業務にかかる組織

「東北大学史料館」全体として本学の歴史に関する資料の管理公開に取り組むと共に、平成23年度より「特定歴史公文書等」の管理を担当する公文書室と、「歴史的資料等」の管理を担当する記念資料室の2室を設置し管理公開業務をおこなっている。

●公文書室

保存期間を満了し移管された本学の歴史公文書、および公文書に準じる性格を有するその他の資料を含む「特定歴史公文書等」の保存・公開等をおこなう。「公文書等の管理に関する法律」第二条第3項第二号に定める「国立公文書館等」としての指定を受けた施設。

●記念資料室

退職教員・卒業生その他の個人等からの寄贈資料を中心とする、東北大学の歴史に関する多様な資料の保存、公開等をおこなう。「公文書等の管理に関する法律」第二条第5項第三号に定める「歴史的若しくは文化的な資料又は学術研究用の資料」を管理する施設としての指定を受けた施設。

2) 事務担当組織

史料館にかかる諸種の事務事項のうち、公文書室に特有の事務については総務部総務課が、それ以外の事務については附属図書館事務部がそれぞれ担当している。

(5) 関係委員会等

①学術資源研究公開センター運営専門委員会史料館部会

「東北大学学術資源研究公開センター規程」第14条にもとづき、学術資源研究公開センター運営専門委員会の下に設置された、史料館の運営に係る専門的事項の審議をおこなう委員会。

2011年度委員名簿

委員長	史料館長・文学研究科教授	佐藤伸宏
委員	文学研究科教授	柳原敏昭
委員	東北アジア研究センター教授	平川 新
委員	高等教育開発推進センター教授	羽田貴史
委員	医学系研究科教授・附属図書館副館長	柳澤輝行
委員	学術資源研究公開センター史料館准教授	永田英明
委員	学術資源研究公開センター史料館助教	曾根原理
委員	学術資源研究公開センター史料館助教	大原理恵

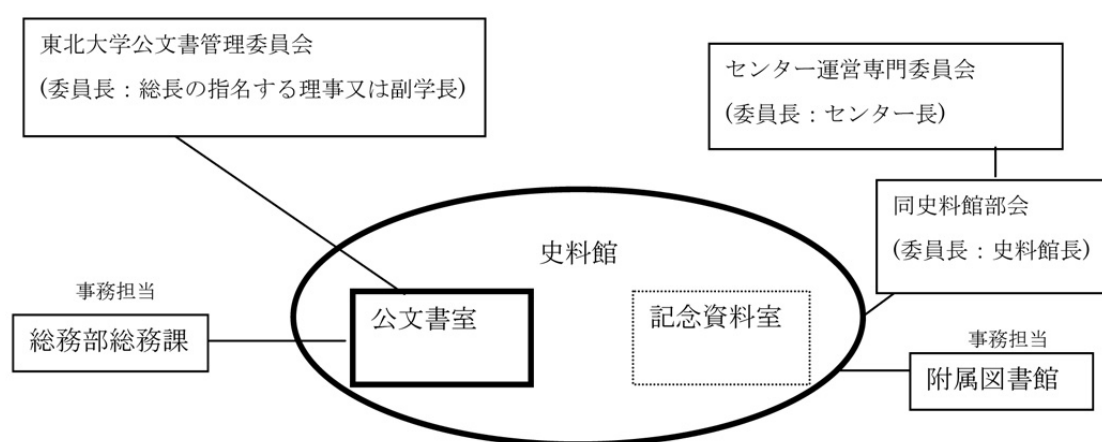
②東北大学公文書管理委員会

「国立大学法人東北大学法人文書管理規程」第8条に基づき、本学の法人文書および「学術資源研究公開センター史料館公文書室が保存する特定歴史公文書等」の管理に関する重要事項を審議する委員会。

2011年度委員名簿

委員長	副学長	北村幸久
委員	総務部長	高橋秀市
委員	史料館長・文学研究科教授	佐藤伸宏
委員	総務部総務課長	米本善則
委員	東北アジア研究センター教授	平川 新
委員	公共政策大学院教授	牧原 出
委員	学術資源研究公開センター准教授	永田英明

史料館組織概念図



(6) 施設

史料館本館は1924年に旧附属図書館本館として竣工した鉄筋コンクリート二階建ての施設を使用している。総床面積は 1214㎡であるが、うち52㎡は小田滋国際司法裁判所判事記念室に提供中である。またこのほかに、現在本部1号館（旧理学化学科棟）内の約 100㎡を歴史公文書庫として使用している。

なお本館については平成24年度において、東日本大震災による被災復旧を兼ねた耐震改修工事が実施されることとなっており、これに伴い館内の書庫の区分等についても変更となる予定であり、利用計画の見直しをおこなう予定である。

施設は全般的に狭隘な状況にあり、業務遂行に必要な施設の確保が課題となっている。特に資料収蔵スペースの確保は今後の業務の遂行に不可欠の課題となっている。

史料館施設面積一覧（平成24年3月現在）

1 階	事務室	33㎡
	教員室・会議室	84㎡
	閲覧室	100㎡
	廊下・便所等	73㎡
	作業室	28㎡
	(小田滋国際司法裁判所判事記念室)	52㎡

2 階	資料収蔵スペース（4 室）	150㎡
	展示室	332㎡
	廊下等	77㎡
中 3 階	資料収蔵スペース（4 室）	85㎡
	廊下	7 ㎡
本部 1 号館 3 階	公文書室書庫	100㎡
	物品保管庫	4 ㎡

Ⅱ 2011年度の活動状況

1. 組織・運営

1－1. 組織整備（公文書室等の設置）

学術資源研究公開センター規程の改正（平成23年 6 月 1 日改正、4 月 1 日より遡及適用）により、史料館に公文書室・記念資料室の 2 室を新たに設置した。

このうち公文書室は、平成23年 4 月 1 日の「公文書等の管理に関する法律」の施行に伴い、同法第二条第 3 項第二号に定める歴史的に重要な公文書等の保存等をおこなう「国立公文書館等」として、内閣総理大臣指定による指定を受けた（4 月 1 日付）。また「記念資料室」は、同じく「公文書等の管理に関する法律」第二条第 5 項第三号に定める歴史的資料等の保有施設として内閣総理大臣による指定を受けた（4 月 1 日付）。

1－2. 利用規則等の制定・改正

（1）公文書室利用等要項の制定

上記公文書室の設置にともない、公文書室が管理する特定歴史公文書等の管理（公開）に関する規則として、「東北大学学術資源研究公開センター史料館公文書室利用等要項」を制定した（6 月 1 日付総長裁定、4 月 1 日より適用）。

（2）利用審査基準の制定

上記要項の制定に伴い、特定歴史公文書等の利用審査にかかる基準として「東北大学学術資源研究公開センター史料館公文書室における公文書管理法に基づく利用請求に対する処分に係る審査基準」を制定した（館長決定）

（3）史料館利用規則の改正

上記公文書室利用等要項の制定に伴い、従来の「東北大学学術資源研究公開センター史料館利用規則」について、同要項との調整の必要が生じたため改正をおこなった。

1－3. 関係委員会の開催

（1）学術資源研究公開センター運営専門委員会史料館部会

以下の 3 回にわたり同部会を開催した。

①第 1 回（平成23年 8 月 1 日（月））

場 所 附属図書館 1 号館 2 階会議室

出席者 佐藤委員長（館長）柳澤（図・副館長）、柳原（文）、加藤（教）、小林（金研）、平川（東北ア）、羽田（高等教育）、永田（史料館）、大原（史料館）の各委員

- 欠席者 曾根原（史料館）
 陪席者 徳竹 剛（公文書室・教育研究支援者）、附属図書館総務課庶務係長
 議 題 （１）東日本大震災における被災状況と対応について
 （２）平成23年度事業計画と実施状況について
 （３）平成22年度決算および平成23年度予算案について

②第2回（平成24年2月15日（木））

- 場 所 附属図書館1号館2階会議室
 出席者 佐藤 議長（館長）、柳澤（図・副館長）、柳原（文）、平川（東北ア）、
 永田（史料館）、曾根原（史料館）、大原（史料館）の各委員
 欠席者 羽田（高等教育）委員
 陪席者 加藤教育研究支援者（史料館）、菊地附属図書館総務課庶務係長
 議 題 （１）史料館長候補者推薦委員会の設置について
 （２）その他（史料館の改修について）

③第3回（平成24年3月1日（木））

- 場 所 附属図書館1号館2階会議室
 出席者 佐藤 議長（館長）、柳澤（図・副館長）、柳原（文）、平川（東北ア）、
 羽田（高等教育）、永田（史料館）、曾根原（史料館）、大原（史料館）の各委員
 陪席者 菊地附属図書館総務課庶務係長
 議 題 （１）史料館長候補者の推薦について
 （２）史料館の改修計画について
 （３）平成23年度事業報告および予算執行状況
 （４）平成24年度事業計画について
 （５）協力研究員について

（２）東北大学公文書管理委員会

- 第1回 日時 平成24年1月19日
 場所 本部1号館3階第1会議室
 出席者 北村委員長（副学長）、高橋（総務部長）、佐藤（公文書室長）、米本
 （総務課長）、平川（東北アジア研究センター）、永田（史料館）委員
 議題 （１）公文書管理法施行に伴う文書管理・移管制度改正の経緯
 （２）公文書管理委員会の設置について
 （３）法人文書の管理に係る事項
 （４）特定歴史公文書の管理に係る事項
 （５）その他

1－4．学内外からの事業資金獲得状況

（１）平成23年度全学的基盤経費

学術資源研究公開センター配分経費のうち、史料館企画展・休日開館経費および東北大学デジタルアーカイブズ整備経費として合計1,500千円の配分を受けた。

2. 資料の管理・公開（アーカイブズ事業）

2-1. 資料の受入・整理

（1）公文書室所管資料（特定歴史公文書・刊行物）の受入・整理・公開

①資料の受入・移管

1）特定歴史公文書（保存期間満了後公文書室に移管された法人文書）

平成22年度末保存期間満了文書の評価数	計3621ファイル
平成23年度特定歴史公文書の受入数	計112冊（本部67／部局45）
平成21年度以前満了文書の追加移管	計15冊

2）学内刊行物の新規収集 計173点

平成23年度に受け入れた特定歴史公文書（移管元別内訳）

総務／総務課	6	教学／学生支援課	9	教育学研究科	2	情報科学研究科	2
総務／法務課	11	施設／計画課	2	法学研究科	15	生命科学研究科	3
総務／広報課	8	情報／情報基盤課	2	経済学研究科	3	金属材料研究所	5
研協／研究協力課	2	環境安全室	2	理学研究科	2	加齢医学研究所	5
国際交流課	7			医学系研究科	3	多元物質科学研究所	2
教学／学務課	4			薬学研究科	3	サイクロ・RI	1
教学／教務課	7			工学研究科	6	大学病院	3
教学／入試課	5	本部合計	67	農学研究科	3	研究科等合計	60

※数字の単位は冊数／法学研究科移管分には、法文学部関係文書（昭和20年代）を含む

②目録の整備・公表

特定歴史公文書の目録公開 計1061冊

平成23年度に公開を開始した特定歴史公文書（移管元別内訳）※数字の単位は冊数

資料群名	冊数	主な内容、備考	利用制限
旧教養部文書（国際文化研究科）	109	運営委員会・教授会議事録、紛争関係	制限あり
北條総長引継書類（総務部人事課）	7	第2代総長交代時の引継書	全部公開
卒業式・記念式典等音声記録（広報課）	27	電子化したかたちで公開	全部公開
旧法文学部・法学部文書（法学研究科）	13	特設研究科関係等、戦後期のもの	制限あり
報国隊関係等（総務課ほか）	7	東北帝国大学報国隊関係等、戦中期	全部公開
大学問題関係資料（総務課）	29	昭和40年代大学紛争関係	全部公開
概算要求関係（財務部財務課（主計））	379	創立期以来の予算書・概算要求関係等	全部公開
旧学生部文書（学生課 第2次公開）	109	戦後期の学生課外活動、学生運動等	制限あり
総務部総務課移管文書	212	官制関係、イールズ事件 ほか	制限あり
金属材料研究所教授会議事録	41		
2010・2011年度移管文書	128	2009～2010年度末保存期間満了文書	制限あり
合計（予定）	1061		

③資料複製・補修等

特定歴史公文書等のマイクロフィルム撮影 16冊 (3073コマ)

1940年代～50年代の未複製公文書 のマイクロフィルムを作成

特定歴史公文書等の電子化 28冊 (25537コマ)

評議会議事録 (大正4～昭和38年分) マイクロフィルムの電子複製を作成

(2) 個人・関連団体寄贈資料等 (記念資料室所管) の受入・整理

①新規資料の収集・受入

平成23年度における受贈資料群 13件

平成23年度に受入れた個人・団体等寄贈資料一覧

資料名・資料群名	備考 (旧蔵者)
酒井清一郎氏旧蔵インバネス	法文学部卒業生
古田良一関係資料 (海外留学関係資料等)	元法文学部教授 (国史学)
村上哲見名誉教授寄贈資料 (小川環樹・蘇歩青書幅)	元文学部教授 (中国文学)
錦織一男氏寄贈医学部第三内科資料 (ビデオ、テープ等)	山形敏一・黒川利雄関係等
大島正隆関係資料 (大島智夫氏寄贈)	
元法文学部副手 (国史学)	
大島正隆関係資料 (森嘉兵衛氏旧蔵書簡)	
大島正隆書簡写し (柳田国男宛)	
鴨沢律子氏寄贈資料 (学生時代写真)	文学部卒業生
東北大学交響楽団関係資料 (定期演奏会プログラム等)	
熊谷岱蔵書画 (鈴木千賀志旧蔵)	元総長／医学部教授
真島利行日記 ※日本化学会「化学遺産」認定	元理学部教授／阪大総長
新妻弘明教授寄贈資料 (環境科学研究科・工学部関係)	平成23年度定年退職
科学計測研究所太陽炉関係資料 (多元研教授等の寄贈)	
学友会応援団旗 (教育学生支援部)	
片平キャンパス北門門標 (財務部資産調達管理課)	

②目録の整備・公表

平成23年度に目録を公表した資料群 11件

平成23年度公開 個人・関連団体資料一覧

資料群名	数量	内容等
千葉胤成文書 (文学部教授)	79点	原稿、メモ、書簡類
本川弘一関係資料 (医学部教授・第12代総長)	51点	学長式辞等原稿、色紙
八木・宇田アンテナ関係資料 (ニューマン文書)	1冊	英軍レーダー手Newmanのノートを旧陸軍で翻訳印刷したもの。
科学計測研究所太陽炉関係資料	114点	
阿部日本文化研究所資料	19点	研究所の事業報告等経営事務書類
細谷恒夫文書 (「戦後教育資料」収載。法文・教育)	350点	学制改革、教育学部創設関係
林威文書 (理学部教授)	11点	理学部戦災復興関係など

抜山平一文書（工学部教授）	188点	電気通信研究所設立・戦時研究関係等
小町谷操三文書（法文学部教授）		著作原稿等
塩釜伊兵衛文書（工専教授）		向山観象所観測記録等
梅沢伊勢三文書（法文学部卒業生）		ノート・原稿等

（３）デジタルアーカイブズの整備（インターネット上での資料情報提供）

①画像データベースの増補

東北大学関係写真データベース 697点（累計5960点）

②資料検索用データベース・目録の増補

特定歴史公文書	ファイル名1061、件名156
刊行物	記事名5067
個人・関連団体文書	資料群 5 件

③「東北大学の災害体験と復興記録」（東北大学災害対応アーカイブズ）の公開

東北大学防災科学研究拠点のプロジェクト「みちのく震録伝」への協力機関として、当館所蔵資料中の下記の大学における災害対応に関する記録を電子化し、インターネット上で公開している。

史料館データベースの登録・公開状況（2011年度末時点）

	特定歴史公文書		刊行物			個人・団体文書	写真	備考
	ファイル名	件名	誌名	書名	記事名	資料群名		
2010年度末現在	1626	3428	2198	594	－	34	5272	
2011年度新規分	1061	156	－	－	5067	5	688	
累計	2687	3584	2198	594	5067	39	5960	

（４）定年退職教員関係資料の作成・収集

①業績目録の作成 38名

②肖像写真の作成 33名

※作成した業績目録・肖像写真は、当館において記録として保存公開するとともに、当該教員にも一定数を贈呈した。

※冊子体業績目録の作成・贈呈は平成23年度分をもって修了し、平成24年度以降は電子データによる業績リストの収集・公開をおこなう予定である。

2-2. 資料利用者への対応

(1) 資料利用状況

平成23年度は、東日本大震災による被災のため5月末日まで一般の利用を休止し、6月1日より利用を再開した。利用状況は下記の通りである。

①史料館全体としての利用状況

項目	件数	人数	
利用請求・申請および利用数	372件	119人	
複写・写しの交付	442件	70人	
出版物等掲載申請数	197件	54人	
閲覧室利用者数（のべ人数）	－	210人	22年度 84人
閲覧カード発行件数	－	97人	

②公文書室所管資料（特定歴史公文書・刊行物）の利用状況

項目	件数	人数	
一般利用請求数	179件	45人	閲覧又は写しの交付請求の総数
利用決定数	179件	31人	
全部利用決定数	174件		
一部利用決定数	5件		
全部利用制限数	0件		
閲覧利用数	139件	31人	
写しの交付請求数	122件	25人	
デジタルカメラ撮影	1件	1人	
利用決定に関する異議申し立て件数	0件	0人	
出版物等掲載申請数（一般資料）	0件	0人	
学内部局等の利用	1件	1部局	

③個人資料等の利用状況

項目	件数	人数	
一般利用数	191件	73人	閲覧又は複写申請の総数
閲覧利用数	191件	73人	
複写申請数（一般資料）	63件	15人	
出版物等掲載申請数（一般資料）	14件	8人	

④画像データベース掲載画像の利用状況

項目	件数	人数	
複写申請数（写真データ）	257件	30人	
出版物等掲載申請数（写真データ）	183件	46人	

※件数は、請求書に記載された資料名（資料群名）ごとに1件とカウントしている。

※人数は、1日単位のものべ人数である。

(2) レファレンス対応

平成23年度における主なレファレンス事項

- ・第二高等学校医学部を卒業した祖父の在籍確認および卒業年次等の確認をしたい
- ・ハンス・モーリッシュの出身地及び彼がアレロパシーの提唱者と言えるか
- ・大島正隆の父正満について
- ・蘇歩青および陳建功に関する資料について
- ・父親（ニュージーランド在住）の日本訪問時の写真の撮影場所が東北大学であるか
- ・宮城県沖地震に関する学内委員会の報告書の所在について
- ・カール・レーヴィット関係の書簡と写真について
- ・伊沢富次郎の履歴
- ・女子入学に関する文部省からの照会の利用
- ・真島利行氏の絵はがき及び日記借用について
- ・第二高等学校校歌「天は東北山高く」について
- ・林鶴一・藤原松三郎に関する資料について
- ・史料館の平面図について
- ・中川愛咲教授の退職願と診断書
- ・東北大学進学指導学生会の資料について
- ・臨時理化学研究所の学内規程等について
- ・仙台高等工業旧教員の履歴に関する資料

3. 普及・社会教育事業

3-1. 展示会および関連企画の開催

(1) 常設展示

①「アーカイブズが語る東北大学のなりたち」（6/1～10/2 代替常設展）

東日本大震災に伴う常設展示室被災のため、常設展「歴史のなかの東北大学」再開までの代替常設展示として、企画展示室に於いて「アーカイブズが語る東北大学のなりたち」を開催した。

②「歴史のなかの東北大学」の再開（10月8日～）

東日本大震災に伴う本館施設の被災のため、平成23年3月14日以降展示を休止した。その後展示室の仮復旧工事をおこない、10月8日より公開を再開した（包摂校展示コーナー「もうひとつの源流—東北大学の包摂校—」を除く）

(2) 魯迅記念展示

①「魯迅と東北大学」の整備・公開（7月19日～）

平成22年度総長裁量経費により整備を進めていた「魯迅記念展示室」についても、東日本大震災に伴う施設被災の影響で整備が遅れ、7月19日より一般公開を開始した。

②魯迅記念展示室オープニング行事（9月28日）

同室の開設に伴い、9月28日にオープニングセレモニーを実施した。同時にミニ企画展「学都仙台の留学生たち」（9/5～10/2）を同時に開催した。

(3) 企画展示等

①企画展示 「探してみよう! 東北大学のアーカイブズ」(10/8~11/11)

公文書管理法施行に伴う歴史公文書移管制度への普及啓発を兼ね、大学アーカイブズに関する一般的な理解の拡大を目的に、標記企画展を開催した。また10月7,8日におこなわれた東北大学附置研究所一般公開「片平まつり2011」の共催企画としても開催した。期間中来場者は1,013名にのぼった。

②「新公開資料速報展」

整理が修了し新たに目録を公開する資料の紹介を兼ね、「新公開資料速報展」を随時実施している。平成23年度は下記の2回の展示を実施した。

- ・相対性原理を広めようー大正・昭和期の科学者たちの交流(池辺常刀文書)(8/2~31)
- ・ダイナマイトにも負けない学長一本川弘一関係史料(1/17~2/20)

③「コレクション紹介展」

公文書や個人文書としては公開できない、美術資料その他の多様な大学史資料を紹介することを目的とする「コレクション紹介展」を随時実施している。平成23年度は、「シリーズ 学者の肖像」と銘打って下記の2回の展示を実施した。

- ・児島喜久雄画 中村善太郎教授像(7/4~29)
- ・岡田三郎助作 山形伸藝博士寿像(11/18~12/23)

④「星寮のおひなさま」展(2/24~3/14)

毎年ひな祭りの時期にあわせて展示公開している、星寮(旧医学部附属病院看護婦寮)において永年使用されてきた昭和初期のひな人形を今年度も公開した。

(4) 館外での展示開催

①企画展「清風一過一大島正隆の歴史学と民俗学」(9/27~10/3)

附属図書館エントランスホール／大島正隆文書研究会との共催で開催。にて旧法文学部卒業生副手をつとめ、東北中世史研究に先駆的な足跡を残しつつ夭折した歴史学者・大島正隆の人と学問を展示紹介した。

②川内萩ホール展示ギャラリー常設展「かわうち今昔ものがたり」(11/14~)

同ギャラリーへの常設展示設置に伴い、埋蔵文化財調査室、植物園と共同で展示を企画・実施している

3-2. 展示室の利用状況

(1) 利用統計

平成23年度は、東日本大震災による被災のため5月末日まで一般の利用を休止し、6月1日より利用を再開したため、展示室の年間公開日数は215日となった。

史料館展示室への入場者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
公開日数	—	—	22	20	20	20	30	22	20	19	21	21	215
入場者数 (累計)	—	—	196	294	617	835	1853	2153	2298	2438	2677	3024	4327

※入場者数は、1階企画展示室入口においてカウントした

※企画展示室は6月1日より、魯迅記念展示室は7月19日より、常設展示室は10月2日よりそれぞれ公開を開始した

(2) 各種団体等による展示見学への対応（展示解説等）

平成23年度の対応件数 26件

見学団体の内訳

区分	件数	備考
本学卒業生同窓会等	1件	クラス会、寮生OB会など
国際交流団体等	15件	日中友好協会関係、中国からの各種訪日団など
その他一般	10件	各種文化施設・学会等主催行事による見学など
総計	26件	

主な見学団体

宮城県バレーボール協会／長春市訪日団／天津大学

中国地質学会／仙台商工会議所／日中友好協会／大連理工大／同済大学

仙台文学館友の会／一関市大原公民館／芦東山記念館／東北多文化アカデミー

東北工業大学留学生一行／私立栄光学園／浙江大学／フィジカルヘルスフォーラム一行

3-3. 他機関開催の展示会への出陳

国立科学博物館「化学者展－ニッポンの近代化学の夜明け」（9/23～12/11）に真島利行関係資料（真島利行文書および理学部化学教室寄贈資料）を出陳した

4. 教育・研修・学習支援活動

4-1. 教育・学習活動における史料館の利用

(1) 史料館を活用した授業・講習の実施 4件

2011年度における、当館施設を利用して実施した授業科目は、下記の通りである

全学教育	展開科目（カレントトピックス）	「東北大学のひとびと」
	基礎ゼミ	「歴史をみつける方法」
	基礎ゼミ	「日本近世史入門」
	国際共修ゼミ	「日本の思想と歴史」
学部教育	文学部・文学研究科開講科目	「日本史実習」
留学生対象	東北大学サマープログラム	Time Travel Tohoku University

4-2. 全学教育の担当

(1) カレントトピックス科目「東北大学のひとびと」

史料館教員2名と文学研究科、高等教育開発推進センターの教員3名の共同で、全学教育科目（カレントトピックス科目群：第2セメスター）において「東北大学のひとびと」を新たに開講した。

(2) 基礎ゼミ等の担当状況

基礎ゼミ 1件

国際共修ゼミ 2件（第1・第2セメスター各1）

計

3件

4-3. 職員研修の担当

2011年度においては、以下の講義を担当した。

東北大学初任者オリエンテーションにおける講義「東北大学の歴史」 2回

5. 調査・研究活動

5-1. 学術出版物の発行

(1)『東北大学史料館紀要』第7号の刊行(2012年3月)

- ・財団法人の学術助成についての一考察 - 創始期の斎藤報恩会による学術研究補助の変遷と東北地方学術振興を中心に - (米澤晋彦・吉葉恭行)
- ・戦時科学技術動員下の東北帝国大学 - 大久保準三文書を手掛かりとして (吉葉恭行)
- ・村岡典嗣『日本国民性ノ精神史的研究』執筆の背景 (本村昌文)
- ・東北大学史料館所蔵カール・レーヴィット関係資料について (鈴木道男・曾根原理)
- ・1969年における東北大学の学生運動 - 豊田武収集資料を通じて - (加藤諭)
- ・＜試論＞書庫の亀裂 - 古典籍利用・保存についての内省的記述の試み - (大原理恵)
- ・魯迅と東北大学 - 歴史のなかの留学生 (永田英明)
- ・探してみよう！ 東北大学のアーカイブズ (永田英明・徳竹剛・加藤諭)
- ・清風一過 - 大島正隆の歴史学と民俗学 (大島正隆文書研究会)
- ・災害と大学アーカイブズ - 東日本大震災における東北大学史料館の対応 (永田英明)
- ・平成22年度に公開した法人文書／平成22年度に公開した個人文書
平成22年度事業年報

5-2. 学会・研究会・研修会等への参加および報告

- ①全国大学史資料協議会全国研究会 (於皇學館大學 10月5～6日 教員1名が参加・報告)
「災害と大学アーカイブズ - 東北大学の場合 -」(永田英明)
- ②全国歴史資料保存利用機関連絡協議会大会 (於群馬県立文書館等 10月27～29日：教育研究支援者1名)
- ③米国東アジア図書館協議会 (2012年3月15日)
助教1名が参加し、下記の報告をおこなった。
「2011年3月11日以降の東北大学 - 図書館と史料館を中心に -」(曾根原理)

5-3. 学会誌・学外メディア等における報告

- ①国立公文書館機関誌『アーカイブズ』への寄稿
永田英明・徳竹剛「東日本大震災における東北大学史料館の被災状況と対応」
(『アーカイブズ』45号、平成23年10月)

5-4. 研修会等への派遣

- ①国立公文書館主催「アーカイブズ研修Ⅰ」(8/29～9/2)への参加 (教育研究支援者1名)

5-5. 科学研究費獲得状況

平成21年度における館員(協力研究員含む)の科学研究費獲得は合計4件となった。内訳は下記の通りである(研究代表者のみ)。

挑戦的萌芽研究	代表 1
基盤研究 (B)	代表 1
基盤研究 (C)	代表 3
若手研究 (B)	代表 1

6. その他

6-1. 広報・情報公開（ニュースレター・ホームページ）

（1）『東北大学史料館だより』

平成23年度は下記の2回発行した。

15号（2011年9月）

巻頭コラム 88年前の大震災と東北大学／公文書管理法の施行と史料館公文書室の設置（永田英明）／東日本大震災における史料館の被災状況と復旧について／新しい閲覧室がオープン！／大学史の書棚から／資料の公開について／おしらせ

16号（2012年3月）

巻頭コラム 東北大学の災害復興記録とアーカイブズ／髭の写真－仙台医学専門学校留学時期の魯迅の写真について（日中友好協会宮城県連事務局長 渡辺 襄）／魯迅記念展示室のオープニング行事がおこなわれました／企画展を開催しました／資料の公開について／史料館のうごき／おしらせ

（2）ホームページ

1) 史料館ホームページの改訂

史料館公文書室の設置を契機に、史料館ホームページの全面改訂をおこなった。

2) 魯迅記念展示室サイトの作成・公開

同展示室の開設を契機に、展示内容等を紹介するサイトを作成・公開した。

6-2. 東日本大震災への対応

東日本大震災の発生にともなう活動として、下記の活動をおこなった。

- （1）災害対応記録の情報提供サイト（「東北大学の災害体験と復興記録」）の開設（前掲）
- （2）東日本大震災デジタルアーカイブズ「みちのく震録伝」への協力
- （3）本学学内における公文書被災状況調査の実施
- （4）全国大学史資料協議会全国研究会「災害とアーカイヴズ」における報告（前掲）
- （5）国立公文書館機関誌『アーカイブズ』における報告（前掲）
- （6）宮城歴史資料保全ネットワークの活動への協力（レスキュー資料の冷凍保存）

史料館日誌抄 (2011/4/1～2012/3/31)

- 4/1 初任者研修講義(永田准教授)
- 4/3 被災した屋根にシートを張る。
- 4/7 震度6強の地震発生
- 4/8 前夜の地震の被害調査および片付け。
- 4/12 高所作業車による屋上シート張り直し。
- 4/13 ミーティング
- 4/18 ブルーシートの張り直し。
- 4/19 館内で雨漏り発生。
- 4/25 ブルーシート張り直し(～4/27)。
- 4/25 雨漏り発生。
- 4/28 雨漏り発生。
- 5/10 閲覧室の工事(～5/11)。
- 5/10 雨漏り発生。
- 5/17 読売新聞記者の取材。
- 5/19 ミーティング
- 5/30 雨漏り発生。
- 6/1 一般公開を再開(企画展示室・閲覧室)
- 6/13 全学教育基礎ゼミ「歴史資料の探し方」(永田准教授担当)受講生見学会。
- 6/14 学術資源センター連絡会議。
- 6/20 故古田良一先生遺族より資料受贈。
- 6/24 国際共修ゼミ「日本の歴史と文化」(曾根原助教担当)学生見学会。
- 6/24 国立公文書館職員、震災被害調査のため来館。
- 6/30 ミーティング。
- 7/4 企画展示室にて、コレクション紹介展(児島喜久雄画 中村善太郎教授像)開始。
- 7/4 全学教育基礎ゼミ「江戸時代を考える」(中川学講師担当)見学会。
- 7/5 村上哲見名誉教授より資料受贈。
- 7/6～7 屋上ブルーシート張替作業。
- 7/15 仙台市スポーツ振興課国際バレーボール連盟会長一行見学。
- 7/19 魯迅記念展示室の一般公開開始。
- 7/20 粉体工業技術協会常務会一行見学。
- 7/21 学術資源センター連絡会議
- 7/25 留学生課サマープログラム一行見学会
- 7/27 東北大学文系サマープログラム一行見学会
- 7/28 史料館ミーティング。
- 7/29 事務連絡会議にて公文書管理・移管制度に関する説明(永田・徳竹)。
- 8/1 学術資源研究公開センター運営専門委員会史料館部会。
- 8/9 2階展示室壁面及び天井部の修理作業開始。
- 8/23 玄関に車椅子用スロープ等設置。
- 8/24 近畿大学教員2名による視察。
- 8/29 徳竹、東京国立公文書館にて研修受講(～9/2)。
- 8/30 2F展示室の天井部分補修作業。
- 9/2 雨漏り発生
- 9/9 史料館ミーティング。
- 9/12 国立科学博物館にて出陳予定の眞島利行資料を搬出。
- 9/20 雨漏り発生。
- 9/21 台風15号による大雨。雨漏り箇所が拡大。(～9/22)
- 9/27 附属図書館エントランスホール(川内)にて、企画展『清風一過－大島正隆の歴史学と民俗学－』を開催。
- 9/28 魯迅記念展示室オープン記念セレモニーを開催。
- 9/30 徳竹剛(公文書室教育研究支援者)、福島大学に転出のため退職。
- 10/1 土・日曜特別開館開始(～11/6)。
- 10/3 加藤諭、公文書室教育研究支援者として着任。
- 10/3 初任者研修講義(永田准教授)
- 10/4 産経新聞取材(魯迅記念展示室につ

- いて)
- 10/5 永田、全国大学史資料協議会出席のため、皇學館大学に出張(～10/6)。
- 10/5 長春市訪問団一行見学案内。
- 10/8 企画展『探してみよう!東北大学のアーカイブズ』開始。
- 10/8 附置研究所一般公開「片平まつり2011」に参加(～10/9)
- 10/11 中国天津大学一行見学案内。
屋上シート張り直し作業。
- 10/12 中国地質学会一行見学案内。
- 10/13 仙台商工会議所一行見学案内。
- 10/19 宮城県日中友好協会一行、見学。
- 10/20 ミーティング。
- 10/21 国際共修ゼミ「日本の歴史と文化」(曾根原助教担当) 学生見学会。
- 10/25 学術資源研究公開センター連絡会議。
- 10/27 加藤、全史料協群馬大会に参加出張(～28)。
- 11/4 中国大連理工大学一行見学。
- 11/7 雨漏り発生。
- 11/9 淑徳大学アーカイブズ職員による視察。
- 11/11 企画展終了。
- 11/15 中国・同済大学副学長一行見学。
- 11/15 仙台文学館友の会一行、見学
- 11/16 国立公文書館職員来館(デジタルアーカイブズに関する説明)。
- 11/17 史料館ミーティング。
- 11/18 企画展示室にて「コレクション紹介展(2) 山形仲藝教授像」開始。
- 11/24 一関市大原公民館一行、見学
- 11/30 仙台市歴史民俗資料館畑井氏来館。
- 12/1 防災伝達訓練。
- 12/5 法学部同窓会清水氏より資料受贈。
- 12/8 環境科学研究科新妻弘明教授より資料受贈。
- 12/9 教育学研究科アジア共同学位開発プロジェクト国際シンポジウム一行見学
- 12/12 故黒川総長遺族より資料受領。
- 12/14 一橋大学図書館長視察来館。
- 12/15 史料館ミーティング。
- 12/16 屋根のブルーシート張り直し作業。
- 12/19 工藤俊雄名誉教授より資料受贈。
- 12/21 国立科学博物館より貸出資料返却。
- 12/28 仕事納め。
- 2012年
- 1/4 仕事始め。
- 1/11 永田准教授、「みちのく震録伝」関連シンポジウム参加(仙台国際センター)
- 1/12 1階教員室および旧閲覧室等改装工事等のため2階展示室を閉鎖。
- 1/13 宮城県日中友好協会一行見学。
- 1/17 企画展示室にて、「新公開資料速報展」開始(～2/20)。
- 1/19 史料館ミーティング。
- 1/19 東北大学公文書管理委員会。
- 1/19 全学教育「東北大学の人々」受講学生見学会。
- 1/21 Global30プロジェクト講義"History of Tohoku University"(中川学講師担当)による見学会。
- 1/23 永田准教授、「みちのく震録伝」WG出席。
- 1/25 書架の耐震補強工事(1階部分)。
- 1/30 内閣府の公文書担当来訪視察。
- 2/3 東大史史料室の谷本氏視察見学。
- 2/6 防災機器点検。
- 2/7 雨漏り発生。
- 2/7 多元研の水崎教授より資料受贈。
- 2/8 学術資源研究公開センター連絡会議。
- 2/10 東北多文化アカデミー一行、見学。
- 2/10 中国吉林省訪問団(宮城県)一行見

学

- 2/15 学術資源研究公開センター運営専門
委員会史料館部会開催。
- 2/17 東京学芸大学君塚氏視察のため来館
- 2/20 情報科学研究科・浙江大学一行見
学。
- 2/20 東北工大留学生一行見学。
- 2/23 雨漏り発生。
- 2/23 史料館ミーティング。
- 2/24 「星寮のおひな様」展開始（～3/14）。
- 2/28 雪どけ水による雨漏り発生。
- 2/29 加藤、京都大学文書館へ出張（～
3/1）。
- 3/1 学術資源研究公開センター運営専門
委員会史料館部会開催。
- 3/6 雪どけ水による雨漏り。
- 3/9 プレスアート『Kappo』の取材。
- 3/12 香港経済貿易代表部駐東京経済貿易
代表部主席代表一行見学。
- 3/12 西南学院大学博物館関係者視察来
館。
- 3/13 東北大学基金総長主催報告会参加者
一行見学。
- 3/15 学術資源研究公開センター連絡会議
- 3/16 第14回フィジカルヘルス・フォーラ
ム参加者一行見学。
- 3/21 史料館ミーティング
- 3/23 中国の記者団見学。
- 3/26 日本化学会総会における化学遺産授
賞式に永田准教授出席。
- 3/29 日本基礎化学教育学会一行見学。

